

各 位

会社名 シャープ株式会社
代表者名 代表取締役 沖津 雅浩
(コード: 6753、プライム市場)
問合せ先 ブランド戦略本部 広報部
田嶋 謙
(TEL. 050-5213-6795)

財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の締結について

当社は、本日、以下のとおり、財務上の特約が付された金銭消費貸借契約を締結することを決定し、株式会社みずほ銀行及び株式会社三菱UFJ銀行をアレンジャーとするシンジケート団との間で契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

1. 理由

当社は現在、昨年5月公表の中期経営計画を着実に推進しており、この結果、業績は順調に推移し、財務基盤の改善も想定を上回るペースで進捗しております。また、一昨年来取り組んできたデバイス事業のASETライト化についても一定の区切りが付くなど、再成長に向けた確かな基盤が整いつつあります。

かかる中、本年4月28日に借入期間満了を迎えるシンジケートローン契約の更改について、各金融機関と協議してまいりました結果、より強力な支援体制の新シンジケート団が組成され、本日、契約締結に至りました。当社は、本件借入金を運転資金として有効に活用し、今後も中期経営計画の完遂、持続的成長に向け、引き続き邁進してまいります。

2. 金銭消費貸借契約の内容

(1) 金銭消費貸借契約の締結日	2026年3月31日
(2) 相手方の属性	アレンジャー：株式会社みずほ銀行、株式会社三菱UFJ銀行 参加金融機関：株式会社三井住友銀行、株式会社りそな銀行
(3) 債務の元本	391,400百万円
(4) 弁済期限	2026年4月28日から2028年3月31日
(5) 担保の内容	不動産、動産（機械・棚卸資産）、有価証券、売掛債権、手形、子会社株式

3. 金銭消費貸借契約に付される財務上の特約の内容

- ①当年度決算期末における連結純資産の金額を、前年度の決算期末または当年度の上期末における各連結純資産の金額のいずれか高い方の80%以上に維持すること
- ②当年度上期末における連結純資産の金額を、前年度の決算期末における連結純資産の金額の80%以上に維持すること
- ③各決算期の上期及び通期の各連結営業利益、連結経常利益及び連結当期利益を0円以上に維持すること

4. 今後の見通し

本契約による当社の連結業績に与える影響は軽微です。

以 上